

TOUZAI

Vol.2

だより

現在、東西舞鶴で取り組んでいる「東西まちづくり公共施設ワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

協力：特定非営利法人リデザインマネジメント研究所
発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課
企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

【第2回】

会場：まなびあむ
日時：2025年9月28日(日)
参加者：27人
(うちWS参加者23人)

1 施設見学＆振り返り

第二回の会場は、元病院の複合施設「まなびあむ」。ワーク前の施設見学では、病院のイメージを塗り変える特徴的な設計や、貸し館施設の利用率が低い時間帯に自習室を開設するといった工夫について、ソフト・ハード両面からの説明がありました。その後、公共施設の『つかいかた』について意見を出し合った、前回のワークを振り返ってから第二回がはじまりました。



【ワークショップのゴール】

ゴール1：前回の整理から「使い方」を軸にして提案を考える準備をする。
ゴール2：選んだ使い方から、施設への気づき、想いを共有する。

2 ワークショップ

第一回で出しあった意見を、「子どもの居場所・遊び場」「にぎわい・交流」「学び・文化活動」「健康づくり」「地域の集い」「くらしの支援」という6つの『つかいかた』にまとめ、これを出発点として第二回のワークを行いました。



【次回お知らせ】「大切にしたいコトを実現するアイデアを考える」

日時：2025年10月26日(日) 10:00～12:00 会場：商工観光センター

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。

詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。

メンバー名

班

3 『つかいかた』を元に
思うこと

1 考えたい『つかいかた』

2 もっとこうするとい
私はこうしたい
もったいない
ほっとけない



←
完成した模造紙は、こちらの二次元
QRコードからご確認ください。

3 全体共有＆講評

各班からの意見共有の後、アドバイザーからの講評がありました。



堤先生(前橋工科大学准教授)

既存の概念を崩せばいろんな可能性が見えてくる。楽しくないと長続きはしない。どんな交流だったら楽しいか考えていただきたい。

杉岡先生(福知山公立大学准教授)

公共施設は本来、不特定かつ多数のもの。そこへの原点回帰が大切。情報は発信するところに集まる。



[お問い合わせ 資産マネジメント推進課 0773-66-1045]

